

Designer r34.1.1 Release Notes

r34.1.1 Full (Pro) をダウンロード

Full (Pro) build: 934

Starter build: 935

Released: 2026年9月16日

● が付いた項目は [r32.4.17](#) にも含まれています。

修正

- **DSOF - 33599** - r30.8 より前のバージョンからプロジェクトをアップグレードした際に、初回の読み込みでレイヤーが黒地に黒で表示されることがなくなりました。
- **DSOF - 33579** - マルチ出力の VFC で、フィードビューが最初の出力の背景色を繰り返すのではなく、各出力それぞれの背景色を表示するようになりました。
- **DSOF - 33457** - 利用できないフォーマットを選択した後も、DirectShow のキャプチャ入力が復帰するようになりました。従来は Designer を再起動するまで使用できませんでした。
- **DSOF - 32345** - Designer がファイルシステムをスキャンしている間に、ST 2110 のキャプチャ入力が他の入力と識別子の競合を起こすことがなくなりました。従来は入力が使用できなくなる場合があります。
- **DSOF - 33673** - OCIO カラーマネジメントを使用するプロジェクトの終了時に、Designer がまれにクラッシュしてデスクトップに戻ることはなくなりました。
- **DSOF - 33203** - Designer の起動後にビデオ信号を接続した場合でも、Matrox のキャプチャ入力が認識されるようになりました。従来は Designer を再起動するまで黒のままでした。
- **DSOF - 33444** - SDI 信号が失われて復帰した後も、Deltacast のキャプチャチャンネルが正常に動作を継続するようになり、同じカードの他のチャンネルでフレーム落ちが発生することがなくなりました。
- **DSOF - 33730** - セクションの区切りをまたぐビデオレイヤーが、前のセクションをクリックして戻った際に正しいフレームを表示するようになり、再生位置が巻き戻ることがなくなりました。
- **DSOF - 33620** - Legacy Video Layer が、フレームの到着が遅れた際に黒を表示するのではなく、最後にデコードしたフレームを保持するようになりました。
- **DSOF - 33510** - ビデオのプリフェッチが、プロジェクトのテンポに応じて伸縮するウィンドウではなく、一定の時間だけ先読みするようになりました。
- **DSOF - 33626** - タイムライン上の別の場所に同じ名前のレイヤーが存在する場合でも、HTTPSockpuppet が Sockpuppet の制御下にあるレイヤーのみを変更するようになりました。
- **DSOF - 23825** - 異なるトラックを使用するスナップショットを復元した際に、'm_track' エラーが報告されるのではなく、それらのトラックの正しいレイヤーが表示されるようになりました。
- **DSOF - 33628** - Set List を変更してサイズを変更した後に、Cue List が "list index out of range" を繰り返し報告することがなくなりました。
- **DSOF - 33728** - About Designer Starter ダイアログの **Get Pro Version** (Pro 版の入手) ボタンが、正しいページにリンクするようになりました。
- **DSOF - 33721** - マルチマシンのセッションで、メディアレジストリが大きくなるにつれてフレームの停止時間が長くなっていくことがなくなりました。
- **DSOF - 33515** - まれな状況でテキストレイヤーをレンダリングした際に、アクセス違反が報告されることがなくなりました。



- **DSOF - 33199** - Application Mode 以外で起動後にモニターをホットプラグした際に、Designer がエラーを報告しにくくなりました。
- **DSOF - 32491** - フィードの検出と設定がより確実に行われるようになりました。
- **DSOF - 33348** - Undistorted Frontplate の空間マップを使用した際に、Designer がコンソールに “Invalid target to resolveAt” メッセージを大量に出力することがなくなりました。